

# 調査結果の概要

## 1 学校調査

### (1) 小学校

#### ア 学校数

学校数は462校(本校449校、分校13校)で、前年と同じでした。(表1)



表1 小学校の設置者別学校数

	総数			国立		公立			私立	
	計	本校	分校	本校	分校	計	本校	分校	本校	分校
昭和55年	459	439	20	1		457	437	20		1
60	464	447	17	1		462	445	17		1
平成2	461	447	14	1		459	445	14		1
3	463	449	14	1		461	447	14		1
4	465	451	14	1		463	449	14		1
5	462	449	13	1		460	447	13		1
6	462	449	13	1		460	447	13		1
7	462	449	13	1		460	447	13		1
対前年比較	0	0	0	0		0	0	0		0

#### イ 学級数、児童数

学級数は4,886学級で、前年に比べ20学級減少した。その内訳をみると、75条の学級が20学級、複式学級が14学級増加したのに対して、単式学級が54学級減少した。なお、単式学級が全学級数に占める割合は90.9%で、前年に比べて0.7ポイント減少した。

児童数は128,469人(男65,929人、女62,540人)で、前年に比べ1,958人減少した。1学級当たりの児童数を学級編制方式別にみると、単式学級28.6人、複式学級9.6人、75条の学級1.8人となっており、前年と比べると単式及び75条学級で低下している。

(表2)

表2 小学校の学級編制方式別学級数、児童数

単位(児童数:人)

	総数			単式学級			複式学級			75条の学級		
	学級数	児童数	1学級当たりの児童数	学級数	児童数	1学級当たりの児童数	学級数	児童数	1学級当たりの児童数	学級数	児童数	1学級当たりの児童数
昭和55年	5,327	167,768	31.5	5,055	166,088	32.9	66	685	10.4	206	995	4.8
60	5,253	160,038	30.5	4,916	158,228	32.2	82	892	10.9	255	918	3.6
平成2	4,988	136,719	27.4	4,598	134,997	29.4	100	1,076	10.8	290	646	2.2
3	4,969	134,829	27.1	4,582	133,198	29.1	96	1,022	10.6	291	609	2.1
4	4,955	133,264	26.9	4,553	131,620	28.9	99	1,044	10.5	303	600	2.0
5	4,928	131,631	26.7	4,522	130,143	28.8	90	885	9.8	316	603	1.9
6	4,906	130,427	26.6	4,494	129,006	28.7	88	817	9.3	324	604	1.9
7	4,886	128,469	26.3	4,440	126,866	28.6	102	978	9.6	344	625	1.8
対前年比較	-20	-1,958	-0.3	-54	-2,140	-0.1	14	161	0.3	20	21	-0.1

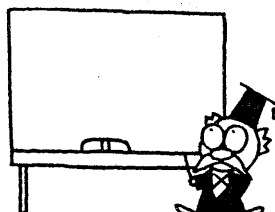
ウ 教員数

本務教員数は7,499人(男2,866人、女4,633人)で、前年に比べ12人(0.2%)減少した。

本務教員数の男女の比率は、男子38.2%、女子61.8%で、女子の占める割合は前年よりさらに高くなっている。

また、本務教員1人当たりの児童数は、17.1人となり前年に引き続き減少している。

(表3)



(2) 中学校  
ア 学校数

学校数は190校(本校187校、分校3校)で、前年と同じでした。(表4)



表3 小学校の本務教員数

単位(教員数・児童数:人、割合:%)

	総数	男	女	女子教員の占める割合	教員1人当たりの児童数
昭和55年	7,314	3,252	4,062	55.5	22.9
60	7,464	3,353	4,111	55.1	21.4
平成2	7,379	3,088	4,291	58.2	18.5
3	7,404	3,020	4,384	59.2	18.2
4	7,455	2,971	4,484	60.1	17.9
5	7,460	2,920	4,540	60.9	17.6
6	7,511	2,908	4,603	61.3	17.4
7	7,499	2,866	4,633	61.8	17.1
対前年比較	-12	-42	30	0.5	-0.3

表4 中学校の設置者別学校数

	総数			国立		公立		私立	
	計	本校	分校	本校	計	本校	分校	本校	
昭和55年	184	180	4	1	175	171	4	8	
60	190	186	4	1	180	176	4	9	
平成2	190	187	3	1	179	176	3	10	
3	190	187	3	1	179	176	3	10	
4	191	188	3	1	180	177	3	10	
5	191	188	3	1	180	177	3	10	
6	190	187	3	1	179	176	3	10	
7	190	187	3	1	179	176	3	10	
対前年比較	0	0	0	0	0	0	0	0	

イ 学級数、生徒数

学級数は2,116学級で、前年に比べ14学級減少した。学級編制方式別にみると、75条の学級が11学級増加したのに対し、単式学級は25学級減少している。また、75条の学級の全学級数に占める割合は7.2%で、前年に比べ0.5ポイント増加している。

生徒数は67,868人(男34,521人、女33,347人)で、前年に比べ851人(1.2%)減少した。また、1学級当たりの生徒数は単式学級34.4人、75条の学級2.1人であった。(表5)

表5 中学校の学級編制方式別学級数、生徒数

単位(生徒数:人)

	総数			単式学級			75条の学級		
	学級数	生徒数	1学級当たりの生徒数	学級数	生徒数	1学級当たりの生徒数	学級数	生徒数	1学級当たりの生徒数
昭和55年	1,977	72,259	36.5	1,886	71,827	38.1	91	432	4.7
60	2,333	86,685	37.2	2,216	86,183	38.9	117	502	4.3
平成2	2,335	78,717	33.7	2,225	78,397	35.2	110	320	2.9
3	2,296	76,333	33.2	2,180	75,991	34.9	116	342	2.9
4	2,236	74,039	33.1	2,112	73,716	34.9	124	323	2.6
5	2,183	71,463	32.7	2,050	71,149	34.7	133	314	2.4
6	2,130	68,719	32.3	1,988	68,401	34.4	142	318	2.2
7	2,116	67,868	32.1	1,963	67,543	34.4	153	325	2.1
対前年比較	-14	-851	-0.2	-25	-858	0	11	7	-0.1

## ウ 教員数

本務教員数は4,390人(男2,542人、女1,848人)で、前年に比べ2人増加した。

本務教員数の男女の比率は、男子57.9%、女子42.1%で、女子の占める割合は前年よりさらに高くなっている。

また、本務教員1人当たりの生徒数は15.5人で、前年に引き続き減少している。(表6)

表 6 中 学 校 の 本 務 教 員 数

単位(教員数・生徒数:人、割合:%)

	総 数	男	女	女子教員の 占める割合	教員1人当 りの生徒数
昭和55年	3,770	2,366	1,404	37.2	19.2
60	4,388	2,757	1,631	37.2	19.8
平成2	4,524	2,720	1,804	39.9	17.4
3	4,527	2,685	1,842	40.7	16.9
4	4,452	2,621	1,831	41.1	16.6
5	4,432	2,600	1,832	41.3	16.1
6	4,388	2,568	1,820	41.5	15.7
7	4,390	2,542	1,848	42.1	15.5
対前年比較	2	-26	28	0.6	-0.2



### (3) 高等学校(通言制を除く)

#### ア 学校数

学校数は80校で前年と同じでした。

課程別にみると、全日制63校(公立51校、私立12校)、定時制4校(公立3校、私立1校)、併置校13校(公立11校、私立2校)となっている。(表7)

表 7 高 等 学 校 の 設 置 者 別 学 校 数

	総 数	公 立						私 立				
		計	本 校			分 校			計	本 校		
			全 日 制	定 時 制	併 置	全 日 制	定 時 制	全 日 制		定 時 制	併 置	
昭和55年	75	60	44	4	10	2	—	15	12	1	2	
60	78	63	47	4	10	2	—	15	12	1	2	
平成2	81	65	50	3	11	1	—	16	13	1	2	
3	81	65	50	3	11	1	—	16	13	1	2	
4	81	65	50	3	11	1	—	16	13	1	2	
5	81	65	50	3	11	1	—	16	13	1	2	
6	80	65	50	3	11	1	—	15	12	1	2	
7	80	65	50	3	11	1	—	15	12	1	2	
対前年比較	0	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	

#### イ 生徒数

生徒数は68,622人(男34,927人、女33,695人)で、前年に比べ1,813人(2.6%)減少した。設置者別では、公立が54,057人で78.8%(6年78.9%)を占め、私立は14,565人で21.2%(6年21.1%)となっており、私立の占める割合が引き続き前年よりも少し高くなっている。

課程別では、全日制が67,483人で98.3%(6年98.3%)を占め、定時制は1,139人で1.7%(6年1.7%)となっている。(表8)

表 8 高等学校の生徒数

単位：人

	総 数			本 科								専攻科	別 科
	計	全日制	定時制	計	普通科	農業科	工業科	商業科	水産科	家庭科	その他		
昭和55年	68,746	66,450	2,296	68,656	45,294	2,285	6,749	7,773	403	5,132	1,020	78	12
60	73,206	71,368	1,838	73,113	50,497	2,283	6,999	7,940	411	3,958	1,025	80	13
平成 2	78,937	77,291	1,646	78,832	55,213	2,414	7,158	7,651	415	3,715	2,266	105	—
3	77,422	75,981	1,441	77,317	54,414	2,328	7,082	7,359	387	3,485	2,262	105	—
4	74,445	73,111	1,334	74,340	52,416	2,231	6,924	7,102	360	3,062	2,245	105	—
5	72,231	70,967	1,264	72,119	51,162	2,185	6,790	6,883	326	2,580	2,193	112	—
6	70,435	69,262	1,173	70,345	49,997	2,191	6,689	6,517	318	2,237	2,396	90	—
7	68,622	67,483	1,139	68,535	48,524	2,137	6,616	6,167	348	1,884	2,859	87	—
公立	54,057	52,963	1,094	53,971	34,620	2,090	6,616	6,119	348	1,884	2,294	86	—
私立	14,565	14,520	45	14,564	13,904	47	—	48	—	—	565	1	—
対前年比較	-1,813	-1,779	-34	-1,810	-1,473	-54	-73	-350	30	-353	463	-3	—

表 9 高等学校の本務教員数

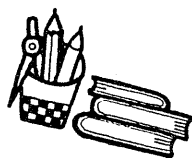
単位(教員数・教員1人当たりの生徒数：人、割合：%)

ウ 教員数

本務教員数は4,333人(男3,270人、女1,063人)で、前年に比べ48人(1.1%)減少した。

設置者別では、公立が3,594人(男2,722人、女872人)で82.9%(6年82.7%)を占め、私立が739人(男548人、女191人)で17.1%(6年17.3%)となっている。

また、本務教員1人当たりの生徒数をみると、総数では15.8人(6年16.1人)、公立は15.0人(6年15.3人)、私立は19.7人(6年19.6人)となっている。(表9)



	総 数	男	女	女子教員の 占める割合	教員1人当た りの生徒数
昭和55年	3,684	2,943	741	20.1	18.7
60	4,004	3,207	797	19.9	18.3
平成 2	4,411	3,476	935	21.2	17.9
3	4,383	3,457	926	21.1	17.7
4	4,361	3,412	949	21.8	17.1
5	4,376	3,380	996	22.8	16.5
6	4,381	3,342	1,039	23.7	16.1
7	4,333	3,270	1,063	24.5	15.8
公立	3,594	2,722	872	24.3	15.0
私立	739	548	191	25.8	19.7
対前年比較	-48	-72	24	0.8	-0.3

(4) 盲学校、聾学校、養護学校

学校数は、盲学校1校(公立)、聾学校1校(公立)、養護学校16校(国立1校、公立14校、私立1校)で、前年と同じである。在学者数は、盲学校34人、聾学校75人、養護学校881人で、前年に比べ盲学校は6人、聾学校は1人減少したが、養護学校は6人増加した。

また、本務教員数は、盲学校38人(公立)、聾学校59人(公立)、養護学校645人(国立27人、公立603人、私立15人)であった。(表10)

表10 盲学校、聾学校、養護学校の学校数、在学者数、本務教員数

単位(在学者数・教員数：人)

	盲 学 校			聾 学 校			養 護 学 校		
	学 校 数	在 学 者 数	本 務 教 員 数	学 校 数	在 学 者 数	本 務 教 員 数	学 校 数	在 学 者 数	本 務 教 員 数
昭和55年	1	106	40	1	160	52	9	854	302
60	1	81	39	1	112	49	9	949	339
平成 2	1	69	40	1	80	51	11	951	442
3	1	51	40	1	92	58	15	934	521
4	1	44	43	1	87	61	15	890	562
5	1	44	41	1	85	60	16	867	596
6	1	40	42	1	76	64	16	875	643
7	1	34	38	1	75	59	16	881	645
対前年比較	0	-6	-4	0	-1	-5	0	6	2

(5) 幼稚園

ア 幼稚園数

幼稚園数は281園で、前年に比べ2園増加した。

設置者別にみると、国立1園(0.4%)、公立215園(76.5%)、私立65園(23.1%)となっている。私立をさらに設置者別にみると、学校法人58園(89.2%)、宗教法人7園(10.8%)で前年と同じである。(表11)

イ 園児数

園児数は24,137人で、前年に比べ519人(2.1%)減少した。設置者別では、国立が151人で0.6%、公立は11,239人で46.6%、私立は12,747人で52.8%となっている。(表11)

ウ 教員数

本務教員数は1,566人(男55人、女1,511人)で、前年に比べ11人増加した。本務教員1人当たりの園児数は15.4人で前年に比べ0.5人減少している。また、本務教員のうち、女子の占める割合は96.5%であった。(表11)

表11 幼稚園の園数、学級数、園児数、本務教員数

単位(園児数・教員数:人)

	園 数			学 級 数	園 児 数			本 務 教 員 数
	総 数	国・公立	私 立		総 数	男	女	
昭和55年	261	208	53	982	29,005	14,730	14,275	1,371
60	270	211	59	945	25,524	12,958	12,566	1,373
平成2	274	212	62	1,005	26,174	13,263	12,911	1,469
3	273	211	62	1,027	25,685	13,060	12,625	1,470
4	274	211	63	1,022	25,617	13,129	12,488	1,484
5	277	213	64	1,017	25,053	12,797	12,256	1,512
6	279	215	64	1,027	24,656	12,668	11,988	1,555
7	281	216	65	1,032	24,137	12,349	11,788	1,566
対前年比較	2	1	1	5	-519	-319	-200	11

エ 就園率

平成7年3月の幼稚園修了者(義務教育就学年齢に達したため卒園した者)は12,023人で、前年に比べ185人減少した。

就園率(小学校1年生のうち幼稚園を修了した者の割合)は59.5%で、前年より0.8ポイント減少している。(表12)

$$\text{就園率} = \frac{\text{前年度修了者}}{\text{小学校1年生}} \times 100$$



表12 就園率

単位(小学校1年生・前年度修了者:人、就園率:%)

	小学校1年生	前年度修了者	就園率
昭和55年	29,001	18,879	65.1
60	24,147	15,054	62.3
平成2	22,427	13,620	60.7
3	21,806	13,189	60.5
4	21,115	12,850	60.9
5	20,808	12,462	59.9
6	20,258	12,208	60.3
7	20,201	12,023	59.5
対前年比較	-57	-185	-0.8

(6) 専修学校

学校数は45校で、前年に比べ1校増加した。その内訳は国立が3校、公立が2校、私立が40校となっている。

生徒数は、5,027人(男1,687人、女3,340人)で、前年に比べ175人減少した。

課程別にみると、専門課程が3,499人で69.6%と最も多く、ついで高等課程の1,444人で28.7%、一般課程の84人で1.7%などとなっている。

教員数は、本務者が364人で前年に比べて13人減少し、兼務者が1,111人で57人増加した。(表13、表14)

表 1 3 専修学校の学校数、生徒数、教員数

単位 (生徒数・教員数:人)

	学 校 数				生 徒 数			教 員 数	
	総 数	国 立	公 立	私 立	総 数	男	女	本 務 者	兼 務 者
昭和55年	25	4	1	20	3,450	368	3,082	242	554
60	34	4	2	28	3,642	593	3,049	276	907
平成 2	41	4	2	35	6,138	2,455	3,683	366	991
3	42	3	2	37	5,624	2,389	3,235	408	952
4	42	3	1	38	5,684	2,514	3,170	412	1,045
5	42	3	1	38	5,435	2,231	3,204	388	977
6	44	3	2	39	5,202	1,903	3,299	377	1,054
7	45	3	2	40	5,027	1,687	3,340	364	1,111
対前年比較	1	0	0	1	-175	-216	41	-13	57

(注) 1. 専修学校制度は、昭和51年から。

2. 昭和51年の学校数 (国立) には、文部省以外の省庁が設置した学校を含んでいない。

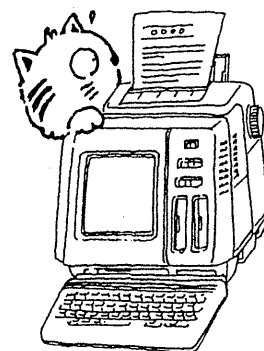


表 1 4 専修学校の課程別生徒数

単位:人

	総 数			国 立			公 立			私 立		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数	5,027	1,687	3,340	328	5	323	204	12	192	4,495	1,670	2,825
高 等 課 程	1,444	997	447	—	—	—	—	—	—	1,444	997	447
専 門 課 程	3,499	678	2,821	328	5	323	204	12	192	2,967	661	2,306
一 般 課 程	84	12	72	—	—	—	—	—	—	84	12	72

(7) 各種学校

学校数は141校で、前年に比べ7校減少した。

生徒数は8,665人 (男 3,397人、女 5,268人) で、前年に比べ271人減少した。生徒数の男女の比率は男子39.2%、女子60.8%で、前年に比べ引き続き男子の比率が上昇している。

教員数は、前年に比べ本務者が446人で19人減少し、兼務者が368人で34人減少した。(表15)

表 1 5 各種学校の学校数、生徒数、教員数 単位(生徒数・教員数:人)

	学 校 数				生 徒 数			教 員 数	
	総 数	国 立	公 立	私 立	総 数	男	女	本 務 者	兼 務 者
昭和55年	186	—	6	180	15,340	5,110	10,230	609	804
60	169	—	4	165	12,155	4,205	7,950	532	449
平成 2	160	—	3	157	10,473	3,744	6,729	498	441
3	157	—	3	154	10,076	3,639	6,437	494	386
4	156	—	3	153	9,842	3,561	6,281	479	419
5	150	—	3	147	9,548	3,586	5,962	469	401
6	148	—	3	145	8,936	3,370	5,566	465	402
7	141	—	3	138	8,665	3,397	5,268	446	368
対前年比較	-7	—	0	-7	-271	27	-298	-19	-34

2 卒業後の状況調査

(1) 中 学 校

ア 卒 業 者



平成7年3月の卒業者は23,707人(男12,176人、女11,531人)で、前年に比べ1,145人減少した。卒業後の進路別にみると、進学者(就職して進学した者を含む。)は23,125人で全体の97.5%、就職者は353人で1.5%、専修学校等入学者(就職して入学した者を含む。)は110人で0.5%、その他(無業者、死亡、不詳)は119人で0.5%となっている。(表16)

イ 進 学 者

進学者は23,125人で、前年に比べ1,079人減少した。進学率をみると97.5%となり、前年より0.1ポイント上昇した。また、高等学校本科通信制課程への進学者(368人)を除く進学率は96.0%であった。(表16)

表 1 6 中 学 校 の 進 路 別 卒 業 者 数

単位(卒業者:人、進学率・就職率・構成比:%)

	総 数	進 学 者 (A)	専修学校 等 入学者 (B)	就 職 者 (C)	そ の 他 (D)	再 掲		進 学 率		就 職 率
						Aのうち就職 している者 (E)	Bのうち就職 している者 (F)	(A)	(A)から通 信制課程を除 く	
昭和55年	25,616	23,870	692	945	109	190	36	93.2	...	4.6
60	27,231	25,269	714	1,095	153	240	27	92.8	92.5	5.0
平成 2	29,026	27,352 (617)	742	777	155	207	6	94.2	92.1	3.4
3	27,317	26,025 (283)	531	654	107	124	11	95.3	94.2	2.9
4	26,115	25,344 (693)	142	533	96	119	3	97.0	94.4	2.5
5	25,693	24,888 (487)	149	537	119	117	8	96.9	95.0	2.6
6	24,852	24,204 (344)	114	425	109	83	5	97.4	96.0	2.1
7	23,707	23,125 (368)	110	353	119	65	3	97.5	96.0	1.8
構 成 比	100.0	97.5	0.5	1.5	0.5	—	—	—	—	—

(C) + (E) + (F)

- (注) 1. 就職率 =  $\frac{(C) + (E) + (F)}{\text{総 数}} \times 100$  2. ( ) 内の数字は、高等学校本科通信制課程への進学者で内数である。  
3. 構成比は個々の数値ごとに四捨五入したため、合計は必ずしも 100.0%にならない。

ウ 就 職 者 (進学者のうち就職している者及び専修学校等入学者のうち就職している者を含む。)

就職者は 421人 (男 292人、女 129人) で、前年に比べ92人減少した。就職率は 1.8%で、前年に比べ 0.3ポイント低下した。(表 1 6)

就職先を産業別にみると、第 2次産業が 179人で全体の 42.5%を占めて最も多く、ついで第 3次産業が 141人で 33.5%、第 1次産業が 70人で 16.6%、その他が 31人で 7.4%となっている。(表 1 7)

また、就職先を県内と県外に分けてみると、県内への就職者は 379人で 90.0%を占めており、前年に比べると 1.3ポイント上昇した。(表 1 8)

表 1 7 中学校の産業別就職者数

単位 (就職者:人、構成比:%)

	総 数	第1次産業	第2次産業	第3次産業	そ の 他
昭和55年	1,171	43	675	412	41
60	1,362	28	735	550	49
平成 2	990	52	495	411	32
3	789	89	400	285	15
4	655	89	336	213	17
5	662	127	285	232	18
6	513	111	194	195	13
7	421	70	179	141	31
構 成 比	100.0	16.6	42.5	33.5	7.4

表 1 8 中学校の県内県外別就職者数

単位 (就職者:人、構成比:%)

	総 数	県 内	県 外
昭和55年	1,171	949	222
60	1,362	1,190	172
平成 2	990	862	128
3	789	696	93
4	655	573	82
5	662	597	65
6	513	455	58
7	421	379	42
構 成 比	100.0	90.0	10.0

(2) 高等学校 (通言語を除く)

ア 卒業 者

平成 7年 8月の卒業者は 22,897人 (男 11,540人、女 11,357人) で、前年に比べ 1,119人減少した。卒業後の進路別にみると、進学者 (就職して進学した者を含む。) は 9,336人で 40.8% (6年 39.7%)、就職者は 7,251人で 31.7% (6年 34.3%)、専修学校等入学者は 5,250人で 22.9% (6年 22.1%)、その他 (無業者、死亡、不詳) は 1,060人で 4.6% (6年 3.9%) となっている。(表 1 9)

イ 進 学 者

進学者は 9,336人で前年に比べ 202人減少した。進学率をみると 40.8%となり、前年より 1.1ポイント上昇した。進学先別にみると、大学学部が 6,083人 (男 3,549人、女 2,534人)、短期大学本科が 3,204人 (男 191人、女 3,013人) 等となっている。

(表 1 9)

表 1 9 高等学校の進路別卒業 者 数

単位 (卒業 者 :人、進学率・就職率・構成比:%)

	総 数	進 学 者 (A)	専修学校 等 入 学 者 (B)	就 職 者 (C)	そ の 他 (D)	再 掲		進 学 率	就 職 率
						Aのうち就職 している者 (E)	Bのうち就職 している者 (F)		
昭和55年	20,467	6,355	2,568	9,991	1,553	68	121	31.0	49.7
60	18,608	5,633(-)	2,904	9,053	1,013	43	147	30.3	49.7
平成 2	25,149	8,202(3)	4,883	10,514	1,550	30	189	32.6	42.7
3	25,331	8,874(10)	4,610	10,449	1,398	25	176	35.0	42.0
4	25,827	9,423(6)	5,179	10,266	959	44	118	36.5	40.4
5	25,040	9,655(5)	5,181	9,232	972	31	117	38.6	37.5
6	24,016	9,538(2)	5,304	8,231	943	22	104	39.7	34.8
7	22,897	9,336(8)	5,250	7,251	1,060	30	81	40.8	32.2
構 成 比	100.0	40.8	22.9	31.7	4.6	-	-	-	-

(注) 1. 就職率 =  $\frac{(C) + (E) + (F)}{\text{総 数}} \times 100$

2. ( ) 内の数字は、大学・短期大学の通信教育部への進学者で内数である。

3. 構成比は個々の数値ごとに四捨五入したため、合計は必ずしも 100.0%にならない。



ウ 就職者（進学者のうち就職している者及び専修学校等入学者のうち就職している者を含む。）

就職者は7,362人（男4,002人、女3,360人）で、前年に比べ995人減少した。就職率は32.2%で、前年より2.6ポイント低下した。（表19）

就職先を産業別にみると、第3次産業が3,615人で49.1%、第2次産業が3,633人で49.3%などであった。（表20）

また、これを職業別にみると、技能工・採掘・製造・建設作業者及び労務作業者が3,144人で42.7%を占め、ついで事務従事者が1,267人で17.2%、サービス職業従事者が1,116人で15.2%などとなっている。

就職先を都道府県別にみると、県内が6,000人で81.5%となっているが、県外では愛知県789人（10.7%）、大阪府217人（2.9%）、東京都70人（1.0%）など1,362人で18.5%であった。県外への就職者の割合は、前年より2.3ポイント低下している。（表21）



表 2 0 高等学校の産業別就職者数

単位（就職者：人、構成比：%）

	総 数	第 1 次 産 業	第 2 次 産 業	第 3 次 産 業	そ の 他
昭和55年	10,180	142	3,972	5,931	135
60	9,243	104	4,775	4,264	100
平成2	10,733	31	5,668	4,945	89
3	10,650	27	5,423	5,041	159
4	10,428	36	5,315	4,976	101
5	9,380	29	4,614	4,649	88
6	8,357	43	3,908	4,275	131
7	7,362	47	3,633	3,615	67
構 成 比	99.9	0.6	49.3	49.1	0.9

- (注) 1. 就職者には、進学者のうち就職している者及び専修学校等入学者のうち就職している者を含んでいる。  
2. 構成比は個々の数値ごとに四捨五入したため、合計は必ずしも100.0%にならない。

表 2 1 高等学校の県内県外別就職者数

単位（就職者：人、構成比：%）

	総 数	県 内	県 外				
			計	愛 知 県	大 阪 府	東 京 都	そ の 他
昭和55年	10,180	7,278	2,902	1,837	563	97	405
60	9,243	6,753	2,490	1,434	449	96	511
平成2	10,733	8,357	2,376	1,506	407	108	355
3	10,650	8,100	2,550	1,613	409	172	356
4	10,428	7,830	2,598	1,546	442	173	437
5	9,380	7,273	2,107	1,330	343	111	323
6	8,357	6,620	1,737	1,043	300	64	330
7	7,362	6,000	1,362	789	217	70	286
構 成 比	100.0	81.5	18.5	10.7	2.9	1.0	3.9

- (注) 就職者には、進学して就職している者、専修学校等に入学して就職している者を含んでいる。